

84.7.4(月) 中建日報

県工で建設業界説明会

街をつくり守る魅力を強調

—県・業界団体—

建設業の将来の担い手確保に向け、広島県と業界団体が連携して実施している「県内建設業界説明会」が6月28日、県立広島工業高等学校(南区出没)であった。県、建設コンサルタント業界、建設業界から講師が登壇し、それぞれの仕事の役割や魅力を紹介。各業界に所属する着手技術者たちが守る魅力を誇りとやり

た。説明会では、冒頭で県土木建築局建設産業課の織田絵美香主査が趣旨を説明したが、「今回の説明会を進路や就職先を決める参考にしてもらわれば」とあいさつ。県内の社会資本整備状況や各業界の役割についても紹介し、業界団体と連携して作成した建設産業紹介DVD「地図に載る仕事を」も披露した。

また、広島県測量設計業協会青年部会の泉田義博部会長(イズタコシサルタント)は、測量設計業界の魅力や求める人材、労働環境、福利厚生などをについて説き、広島建設青年交流会の高橋章文副会長(宮川興業)は、地域のインフラ整備などを持つとともに、災害対応にも奔走する地元建設業の魅力を強調。「街を

の意見交換会も催された。

このほか、各業界で働く若手技術者(県工O B)との意見交換会も開かれ、県からは北部建設事務所維持課の水谷紗月

氏、測量設計業界からは俵大樹氏(ラムウェルト)、建設業界からは北束友貴氏(宮川興業)が参加した。学生からは「就職する前にやつておいた方が良い」とは」「高校で働くメリットはあるか」「出

会にはあるか」などの質問が次々と寄せられ、「資格取得なども良いが、遊ぶ」と。働くお金が貰う若いの元気さを貢献する」「高校だと奨学金が返済などはないし、周りの若手の元気さを貢献する」「出会」は自分次第。ないじめはない」などと真摯に回答した。

建設業界説明会は、進

路選択を控える学生に建設業を身近に感じてもらい、建設業を志す若者を増やそうとする2015年度から開かれているもの。毎年度4~5校を対象に行っているが、昨年度はコロナ禍で西条農業高等

学校を除く全校が中止となつた。

今年度はこの日の県工が第1回目で、今後は県立工業高等専門学校、庄原工業高等専門学校なども近く開催予定となつてい

